

110	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	目の決算額	393,972,060	110
	事務事業名称	健康づくり推進事業					
	事業コスト(千円)	30,215	【うち人件費 24,003 うち減価償却費 2,180 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民及び市域						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 健康づくりに取り組む市民や健康づくりを支える推進員が増え、「健康都市おおぶ」としてまちが活性化しています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位	
	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合		53.4	/	60	%	
	食事をかんで食べる時の状態が「何でもかめる」人の割合		76.2	/	76	%	
	朝ごはん野菜を「週4日以上食べる」子どもの割合		24.7	/	33	%	
実施内容	1 健康づくりチャレンジ (1) 企業チャレンジ 令和4年度：75社、令和5年度：116社、令和6年度：125社 (2) 一般チャレンジ 令和4年度：376人、令和5年度：376人、令和6年度：415人 (3) 健康づくりチャレンジ啓発イベント 令和6年度：221人						
	2 禁煙強化対策の推進 敷地内禁煙：2回 街頭キャンペーン：5月31日に大府駅と共和駅周辺で実施（R6雨天のため中止）						
	3 第17回大府シティ健康ウォーキング大会 令和4年度：423人、令和5年度：555人、令和6年度：636人						
	4 あいち健康プラザ健康づくりコース利用料助成 申請者数 令和4年度：49人、令和5年度：62人、令和6年度：47人 延べ利用回数 令和4年度：114回、令和5年度：139回、令和6年度：105回						
	5 大府市健康づくり推進員協議会及び大府市健康づくり食育推進協議会の活動支援 健康づくり推進員数 令和4年度：37人、令和5年度：39人、令和6年度：45人 食育推進員数 令和4年度：26人、令和5年度：30人、令和6年度：33人						
	6 おおぶ健康づくりボランティア養成講座 大府市健康づくり推進員及び大府市健康づくり食育推進員の養成講座を実施しました。 令和4年度：延べ参加者数59人（講座回数7回） 令和5年度：延べ参加者数92人（講座回数6回） 令和6年度：延べ参加者数80人（講座回数6回）						
	事業の評価	妥当性評価	市民の健康づくりを推進する環境整備は、市が実施すべき事業です。				
有効性評価		子どもの食生活は大人の食生活の影響を大きく受けるため、引き続き保護者への朝ベジ啓発が必要です。					
効率性評価		企業や歯科医師会等関係機関と協働で実施することで、広く市民に周知することができました。健康づくり推進員協議会及び食育推進協議会の会員同士の交流を深めるために交流会を行いました。					
事業費	左の財源内訳						
	8,158,921	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		219,000	0	0	7,939,921		

110	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	110
	事務事業名称	健康づくり推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	7	8020表彰・9020表彰 8020表彰者 令和4年度：99人、令和5年度：132人、令和6年度：91人 9020表彰者 令和4年度：9人、令和5年度：9人、令和6年度：16人			
	8	こども料理コンクールビストロおぶちゃん 応募数 令和4年度：891組、令和5年度：629組、令和6年度：627組			
	9	朝ベジの普及・啓発 朝ベジ（朝食での野菜摂取）の健康効果を啓発し、生活習慣の予防を図るため、3歳児健診時に集団朝ベジ指導を実施しました。 対象者 令和4年度：868人、令和5年度：834人、令和6年度：868人			
	10	フッ化物洗口 年長児 令和4年度：735人 実施率83.5% 令和5年度：794人 実施率97.5% 令和6年度：791人 実施率96.9%			
	11	0次予防の推進 歩行姿勢測定システムを用いた測定会と、ウォーキングマップの配布を実施しました。 歩行姿勢測定会 参加者数 令和5年度：1,903人（計26回）、令和6年度：1,890人（計29回） ウォーキングマップ配布数 令和5年度：525冊、令和6年度：475冊			

111	款・項・目	4・1・1	目名称	保健衛生総務費	目の決算額	393,972,060	111
	事務事業名称	保健センター施設整備事業					
	事業コスト(千円)	7,006	【うち人件費 5,702 うち減価償却費 564 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 保健センター等の施設や設備						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 快適性・安全性を整え、保健センター等の利便性を高めます。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位	
	整備施設数		1	/	1	施設	
				/			
実施内容	令和5年4月に大府北中学校で新たにテニスコートが開設され、市民に開放されたことに伴い、東新テニスコートを転用して市民の健康増進・交流の場とするとともに、小中学生の第二教育支援センターの機能を有する複合施設の整備を進めるため、健康交流拠点施設の整備設計委託を行いました。						
	1 健康交流拠点施設整備設計委託（健康交流拠点施設） 委託費 29,535,000円						
事業の評価	妥当性評価	「健康都市おおぶ」のさらなる発展のため、あらゆる世代の健康づくり・介護予防と世代間交流・共生を推進する新たな拠点整備は、市が進めるべき重要な事業です。					
	有効性評価	健康交流拠点施設の整備設計委託により、計画的に進めることができ、適正な設計とコスト管理を実現することができました。					
	効率性評価	健康交流拠点施設整備にあたり、健康長寿に関わる関係機関や民間企業、教育委員会と連携し、施設の運営や機能に関する意見を踏まえながら、効率的に設計業務を進めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	31,146,099	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	31,146,099		

112	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	246,537,774	112			
	事務事業名称	成人健康診査事業								
	事業コスト(千円)	229,626	【うち人件費 16,222 うち減価償却費 3,036】							
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)									
	15歳以上の市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 疾病の早期発見や自身の健康状態を把握し、健康増進を図ることができます。									
評価指標	指標名		令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位				
	特定健康診査受診率		63.1	/	57.2	%				
	大腸がん検診受診率		14.7	/	25	%				
				/						
実施内容	1 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査の実施									
	(1) 集団健康診査(実施回数) 101回 {平日56回、夜間2回、休日3回、人間ドック12回(うち休日3回)、レディースドック28回(うち休日6回)}									
	(2) 個別健康診査(実施機関): 市内医療機関等30か所、JAあいち組合員健康診査									
	(3) 受診者数 (単位: 人、%)									
	年度		R4年度		R5年度		R6年度			
	実施回数		106回		104回		101回			
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
	国保	10,660	6,354	59.6	9,843	5,966	60.6	9,198	5,800	63.1
	後期	11,757	5,495	46.7	12,205	5,889	48.3	12,769	6,675	52.3
	生活保護	263	36	13.7	265	41	15.5	258	53	20.5
2 健康増進法に基づくがん検診 がんの早期発見、早期治療を目的にがん検診を実施しました。										
(1) 集団検診(実施回数): 胃(X線) 51回、子宮 38回、乳房 39回、大腸 随時、 肺(X線) 101回、肺(喀痰細胞診) 随時、前立腺 23回、 胃ハイリスク 随時										
(2) 個別検診(実施機関): 胃(X線) 2医療機関、胃(内視鏡) 7医療機関、 子宮 2医療機関及び2検診機関、乳房 2検診機関、 肺(X線) 28医療機関及び1検診機関										
事業の評価	妥当性評価	高齢者の医療の確保に関する法律により、特定健康診査、特定保健指導は医療保険者が実施することが定められており、大府市国民健康保険加入者などの健診は市が実施すべき事業です。また、健康増進法により市民へのがん検診に関する普及啓発は市が実施すべき事業です。								
	有効性評価	市民の受けやすい健康診査会場が確保できており、生活習慣病の早期発見や予防に有効です。								
	効率性評価	定期的に健康診査やがん検診を受診することで、疾病の早期発見、早期対応に繋がり、ひいては医療費の削減になります。								
事業費	左の財源内訳									
	209,861,681	国県支出金	地方債	その他	一般財源					
		3,915,000	0	100,550,608	105,396,073					

112	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	112
	事務事業名称	成人健康診査事業			
	事業コスト(千円)				

(3) 受診者数 (単位：回、人)

	R4年度		R5年度		R6年度	
	がん検診	(再掲) 補助事業	がん検診	(再掲) 補助事業	がん検診	(再掲) 補助事業
胃 (X線)	2,366	-	2,201	-	2,024	-
胃 (内視鏡)	158	-	240	-	278	-
子宮	3,042	(26)	3,036	(27)	2,978	(22)
乳房	2,655	(87)	2,666	(76)	2,619	(70)
大腸	3,484	-	3,415	-	3,290	-
肺 (X線)	12,071	-	12,199	-	13,031	-
肺(喀痰細胞診)	81	-	65	-	71	-
前立腺	951	-	900	-	860	-
胃ハイリスク	249	-	260	-	290	-
合計	25,057	(113)	24,982	(103)	25,441	(92)

実施
内容

3 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 (国の補助事業：実績人数は前項の表のとおり)

(1) がん検診無料クーポン事業

子宮頸がん検診と乳がん検診の無料クーポン券を以下の対象者に配布しました。

(子宮頸がん検診) 対象：20歳の女性 502人 (乳がん検診) 対象：40歳の女性 629人

(2) 個別勧奨

がん検診について対象者の方に個別受診勧奨を行いました。 受診勧奨者数18,050人

(3) 精密検査未受診者への受診勧奨

がん検診精密検査未受診者に対し、郵送等にて受診勧奨しました。 受診勧奨者数166人

4 長寿ドック受診料補助金の交付 交付者数 R4年度：29人 R5年度：39人 R6年度：25人

5 成人歯科健康診査

(1) 対象者 20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳

(2) 実績

年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象者数 (人)	12,449	12,785	12,422
受診者数 (人)	703	627	646
受診率 (%)	5.6	4.9	5.2

(3) 要精密検査結果の把握 (40、50、60、70歳)

	R4年度	R5年度	R6年度※
要精密検査対象者数 (人)	111	92	124
受診者数 (人)	83	53	82
受診率 (%)	74.8	57.6	66.1

※R7年3月末時点

113	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	246,537,774	113																											
	事務事業名称	成人保健指導事業																																
	事業コスト(千円)	4,598	【うち人件費 2,639 うち減価償却費 241 】																															
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																																	
	15歳以上の市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民の健康の保持増進することができます。																																	
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																												
	ゲートキーパー養成研修延べ受講者数		941	／	740	人																												
				／																														
実施内容	1 ゲートキーパー養成講座 学校教職員、民生委員等に向けた養成講座を開催し、自死対策に取り組む人材を育成しました。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>5</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>2</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>4</td> <td>299</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実施回数	受講者数	R4年度	5	161	R5年度	2	139	R6年度	4	299															
	年度	実施回数	受講者数																															
	R4年度	5	161																															
R5年度	2	139																																
R6年度	4	299																																
2 健康相談 生活習慣病やメンタルヘルス等健康に関する相談に対応しました。																																		
(1) 成人健康相談 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電話</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>42</td> <td>9</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>							年度	電話	面接	合計	R4年度	16	8	24	R5年度	10	6	16	R6年度	42	9	51												
年度	電話	面接	合計																															
R4年度	16	8	24																															
R5年度	10	6	16																															
R6年度	42	9	51																															
(2) 精神保健相談 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電話</th> <th>面接</th> <th>訪問</th> <th>メール</th> <th>他機関との調整等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>217</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>248 (実30人)</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>207</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>28</td> <td>257 (実33人)</td> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>124</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>147 (実30人)</td> </tr> </tbody> </table>							年度	電話	面接	訪問	メール	他機関との調整等	合計	R4年度	217	6	5	0	20	248 (実30人)	R5年度	207	9	11	2	28	257 (実33人)	R6年度	124	8	2	2	11	147 (実30人)
年度	電話	面接	訪問	メール	他機関との調整等	合計																												
R4年度	217	6	5	0	20	248 (実30人)																												
R5年度	207	9	11	2	28	257 (実33人)																												
R6年度	124	8	2	2	11	147 (実30人)																												
3 がん患者のアピアランスケア支援事業 がん患者の医療用ウィッグ及び乳房補整具の購入費を助成しました。																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ウィッグ件数</th> <th>乳房補整具件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>24</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>33</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>							年度	ウィッグ件数	乳房補整具件数	R4年度	24	8	R5年度	25	5	R6年度	33	9																
年度	ウィッグ件数	乳房補整具件数																																
R4年度	24	8																																
R5年度	25	5																																
R6年度	33	9																																
4 若年がん患者在宅療養支援事業 令和5年6月から、末期がんと診断された若年がん患者の介護サービスや福祉用具にかかる費用の補助を開始しました。申請件数 R5：0件、R6：0件																																		
事業の評価	妥当性評価	自死対策計画に基づき、自死に関する理解を深め、悩みを抱えている人への介入を促すため市が主体となって実施すべき事業です。																																
	有効性評価	ゲートキーパー養成講座を実施することで、全庁的に自死について理解を深めることができました。また、市民と深く関わる方に対しても、ゲートキーパーとは何か周知を広めることにつながっています。																																
	効率性評価	ゲートキーパー養成講座を市内教職員と民生委員へ合同で実施したことで、対象者の立場に合わせた研修を行うことができました。																																
事業費	左の財源内訳																																	
	1,632,636	国県支出金	地方債	その他	一般財源																													
		631,000	0	0	1,001,636																													

114	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	目の決算額	246,537,774	114																
	事務事業名称	介護予防事業																					
	事業コスト(千円)	62,514	【うち人件費 23,556 うち減価償却費 3,303 】																				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																						
	65歳以上の市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 要介護状態になることを予防します。																						
評価指標	指標名			令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位																
	健康長寿塾参加者数			7,447	/	5,460	人																
	えん下機能が低下している市民の割合			22.7	/	12	%																
	栄養パトロールアンケート回収率			71.1	/	65	%																
実施内容	1 健康長寿塾 介護予防を目的に、運動指導員による体操と専門職講師による健康講座、年2回の測定会(問診、歩行速度等)を行いました。令和5年度から国立長寿医療研究センターに一部委託し、認知症予防強化コースを実施しました。 会場：市内4か所(東山公民館、大府公民館、吉田公民館、長草公民館) 期間：4月9日～3月28日 認知症予防強化コース 会場：大府公民館、長草公民館 開催回数：各26回																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>186</td> <td>182</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>参加実人数(人)</td> <td>258</td> <td>265</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>参加延人数(人)</td> <td>5,392</td> <td>6,404</td> <td>7,447</td> </tr> </tbody> </table>								R4年度	R5年度	R6年度	開催回数(回)	186	182	189	参加実人数(人)	258	265	280	参加延人数(人)	5,392	6,404	7,447
		R4年度	R5年度	R6年度																			
	開催回数(回)	186	182	189																			
	参加実人数(人)	258	265	280																			
	参加延人数(人)	5,392	6,404	7,447																			
	2 介護予防教室事業所委託(はつらつ運動コース) 市内4事業所 対象者1人につき12回実施 参加実人数 R4：15人 R5：7人 R6：15人																						
	3 認知症不安ゼロ作戦委託																						
	(1) プラチナ長寿健診																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>1,119</td> <td>1,246</td> <td>1,311</td> </tr> </tbody> </table>								R4年度	R5年度	R6年度	受診者数(人)	1,119	1,246	1,311								
	R4年度	R5年度	R6年度																				
受診者数(人)	1,119	1,246	1,311																				
(2) コグニノート																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布者数(人)</td> <td>1,516 (393)</td> <td>1,317 (47)</td> <td>1,255 (77)</td> </tr> </tbody> </table>								R4年度	R5年度	R6年度	配布者数(人)	1,516 (393)	1,317 (47)	1,255 (77)									
	R4年度	R5年度	R6年度																				
配布者数(人)	1,516 (393)	1,317 (47)	1,255 (77)																				
() 内は74歳以下																							
(3) 高齢者の安全運転技能検査																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転技能簡易検査受診者数(人)</td> <td>587</td> <td>641</td> <td>737</td> </tr> </tbody> </table>								R4年度	R5年度	R6年度	運転技能簡易検査受診者数(人)	587	641	737									
	R4年度	R5年度	R6年度																				
運転技能簡易検査受診者数(人)	587	641	737																				
事業の評価	妥当性評価	多くの市民が事業に参加することで、運動や社会との交流の場、自身の健康状態を知る機会となり、介護予防につながっているため、市が主体となって実施すべき事業です。																					
	有効性評価	プラチナ長寿健診の受診者やコグニノート継続利用者は新規要介護発生までの期間が長くなっており、介護予防に有効な事業です。																					
	効率性評価	プラチナ長寿健診と食べる機能健診をセットで実施することで、勧奨通知や予約の事務を減らし、高い受診率を保つことができています。																					
事業費	左の財源内訳																						
	35,043,457	国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
		0	0	35,027,907	15,550																		

114	款・項・目	4・1・2	目名称	成人老人保健推進費	114
	事務事業名称	介護予防事業			
	事業コスト(千円)				

4 食べる機能健診（口腔機能健診）
 口腔機能の低下に早期に気づき、口腔状態を整えたり意識したりすることによって低栄養や誤えん性肺炎等を予防するため、プラチナ長寿健診に併せて実施しました。

	R4年度	R5年度	R6年度
受診者数（人）	1,105	937	981

5 コグニバイク
 コグニバイクを利用してコグニサイズの実施を勧奨しました。

	R4年度	R5年度※	R6年度
使い方講習会（回）	随時	9回＋随時	15回＋随時
新規登録者数（人）	29	25	35
延利用者数（人）	1,680	1,270	1,125

※令和5年11月～令和6年2月は保健センター改修工事のため、一時的に利用停止

6 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（専任職員の配置）

(1) ハイリスク者フォロー事業

プラチナ長寿健診、食べる機能健診、栄養パトロール等の結果から要介護状態のハイリスクな方へ保健師、歯科衛生士、管理栄養士が訪問・電話等により支援しました。（単位：人）

	R4年度				R5年度				R6年度				
	実人数	延人数			実人数	延人数			実人数	延人数			
		訪問	面接	電話		訪問	面接	電話		訪問	面接	電話	手紙
保健師	66	46	16	26	32	21	4	11	90	31	70	4	
歯科衛生士	43	7	9	37	68	2	3	65	81	0	25	59	34
管理栄養士	120	125	40	37	145	119	36	77	88	75	18	40	

実施内容

(2) 栄養パトロール

75歳以上の健診・医療未受診者に管理栄養士が訪問しました。

	R4年度	R5年度	R6年度※
訪問対象者（人）	173	193	114
把握数（人）	129	148	81

※令和6年度より対象者抽出基準を変更

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

重症化予防のための保健事業や受診勧奨を実施しました。

	R4年度	R5年度	R6年度
参加者（人）	23	19	11
受診勧奨（人）	14	25	12

(4) 通いの場等での健康教育・健康相談

通いの場へ専門職が出向きフレイル予防に関する健康教育や後期高齢者の質問票によるフレイルの把握を行いました。

	R4年度	R5年度	R6年度
健康教育を実施した通いの場回数（か所）	3	8	7
延べ回数（回）	8	20	16
延べ参加者数（人）	283	253	188
フレイル状態の把握を実施した通いの場回数（か所）	8	14	15
高齢者の質問実施者数（人）	213	212	158
フレイルの恐れあり（人）	32	59	51

115	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	目の決算額	260,996,407	115				
	事務事業名称	母子健康診査事業									
	事業コスト(千円)	149,413	【うち人件費 32,828 うち減価償却費 2,863 】								
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 妊産婦、乳幼児及びその保護者										
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 妊産婦及び乳幼児の健康状態を安定的にします。また保護者が安心できる支援体制の整った環境で子育てができるようにします。										
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位					
	3歳児健診受診率		99.2	／	100	%					
	産婦健康診査受診率		92.7	／	86	%					
	乳児健康診査受診率		81	／	80	%					
実施内容	1 乳幼児(歯科)健康診査										
	(1) 4か月児健康診査		R4年度: 37回	R5年度: 37回	R6年度: 35回						
	(2) 10か月児食べる機能健診			R5年度: 34回	R6年度: 33回						
	(3) 1歳6か月児(歯科)健康診査		R4年度: 37回	R5年度: 35回	R6年度: 36回						
	(4) 2歳児歯科健康診査		R4年度: 19回	R5年度: 24回	R6年度: 20回						
	(5) 3歳児(歯科)健康診査		R4年度: 42回	R5年度: 37回	R6年度: 38回						
	(6) 乳幼児健康診査、幼児歯科健康診査受診状況							(単位: 人、%)			
			R4年度		R5年度			R6年度			
			対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
	4か月児健診		816	798	97.8	798	782	98.0	766	742	96.9
	10か月児健診					789	729	92.4	788	741	94.0
	1歳6か月児健診		812	824	101.5	841	837	99.5	803	793	98.8
2歳児歯科健診		837	494	59.0	910	587	64.5	764	491	64.3	
3歳児健診		897	890	99.2	864	847	98.0	896	889	99.2	
2 妊産婦・乳児健康診査及び妊産婦歯科健康診査医療機関委託											
妊産婦・乳児健康診査及び妊産婦歯科健康診査受診票利用状況							(単位: 件、%)				
		R4年度		R5年度		R6年度					
		受診件数	受診率	受診件数	受診率	受診件数	受診率				
妊婦健康診査(15回)		10,780	83.8	10,170	85.7	10,254	92.9				
上記のうち多胎(5回)		7	10.0	5	14.3	3	18.8				
産婦健康診査(2回)		1,526	85.9	1,460	89.1	1,419	92.7				
乳児健康診査(2回)		1,555	82.6	1,389	81.4	1,312	81.0				
新生児聴覚検査(1回)		742	82.1	736	89.2	688	87.8				
妊産婦歯科健康診査(1回)		332	34.3	323	36.7	317	35.1				
妊婦健康診査15回のうち1回は子宮頸がん検診											
事業の評価	妥当性評価	母子保健法に定められており、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進を図ることは、市が実施すべき事業です									
	有効性評価	乳幼児健康診査、産婦健康診査の受診率は高い数値で推移しており、乳幼児の発育・発達の確認と疾病の早期発見・予防、保護者の育児不安の解消など広く役立っています。									
	効率性評価	発達段階等必要な時期に健診を実施しており、限られた時間の中で効率的に切れ目のない支援を提供できています。									
事業費	左の財源内訳										
	112,978,627	国庫支出金	地方債	その他	一般財源						
		4,519,000	0	6,800,150 (基金6,800,150)	101,659,477						

116	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	目の決算額	260,996,407	116
	事務事業名称	母子保健指導事業					
	事業コスト(千円)	179,226	【うち人件費 28,635 うち減価償却費 1,902 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 乳幼児及び乳幼児の保護者及び不妊治療をしている市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 妊産婦や乳幼児が安心して子育てができる環境が整っています。不妊治療対象者が安心して適切な医療受診ができるようにします。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	こんにちは赤ちゃん訪問実施率		93.4	／	95	%	
	子育てが楽しいと思えるときに「よくある」人の割合		87.4	／	90	%	
実施内容	1 訪問指導						
	(1) こんにちは赤ちゃん訪問 助産師又は保健師が家庭訪問をして母子の心身の状態、育児状況等の把握と相談、助言及び指導を実施しました。 訪問件数実績 (単位：件)						
		R4年度	R5年度	R6年度			
	2か月児訪問	818	762	725			
8か月児訪問			744				
(2) 妊産婦及び乳幼児への訪問 妊産婦や育児支援が必要な母子に対して助産師や保健師、管理栄養士、歯科衛生士が訪問による相談、指導を実施しました。（こんにちは赤ちゃん訪問を含む） ア 訪問回数 R4年度：1,826件、R5年度：1,726件、R6年度：2,439件 イ R6年度の対象者別訪問回数（再掲）妊産婦：747件、乳児：1,526件、幼児：166件							
2 産後ケア事業 母体の休養及び体力の回復並びに母体ケア及び乳児ケアを実施する産後ケアを医療機関に委託して実施しました。 産後ケア利用延実績 (単位：人、日)							
		R4年度		R5年度		R6年度	
		人数	日数	人数	日数	人数	日数
	宿泊	6	28	4	16	7	21
	通常日帰り	1	3	0	0	5	7
	短時間日帰り					71	204
	訪問					18	33
事業の評価	妥当性評価	母子保健法の定めにより、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進を図ることと、また妊娠を希望している子育て世代への経済的支援は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	産前から産後まで切れ目のない支援が受けられるような環境を市民に提供することができました。					
	効率性評価	こども相談やOBUパパ&ママサロンでは対面形式で実施しており、参加者が多い状況です。コロナ禍が明け、対面での相談事業の需要が増加しています。					
事業費	左の財源内訳						
	148,017,780	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		77,321,488	0	4,047,252 (基金946,582)	66,649,040		

116	款・項・目	4・1・3	目名称	母子保健推進費	116
	事務事業名称	母子保健指導事業			
	事業コスト(千円)				

3 不妊治療費補助
 不妊検査・不妊治療を受けた夫婦に対して、医療に要した費用を対象に補助金を交付しました。

(1) 一般不妊治療(申請数)
 ア 不妊検査、不妊治療 R4年度：108件、R5年度：90件、R6年度：98件
 イ 人工授精(再掲) R4年度：66件、R5年度：62件、R6年度：60件

(2) 生殖補助医療 (単位：件)

	R4年度	R5年度	R6年度
申請数	271	193	190
再掲(実人数)	147	92	107
再掲(先進医療)			22
再掲(自費診療)			6

4 不育症治療費補助
 不育症の診断を受け不育症治療を受けた夫婦に対して、医療に要した費用を対象に補助金を交付しました。
 申請数 R4年度：0件、R5年度：1件、R6年度：2件

5 ことばの相談
 医師、言語聴覚士及び臨床心理士による幼児のことばの発達や発音について相談を実施しました。
 利用者数 R4年度：50人、R5年度：45人、R6年度：42人

6 養育医療の給付
 未熟児であり、医師が入院養育が必要と認めた児に対し、養育医療の給付を行いました。
 R4年度：32件、R5年度：32件、R6年度：39件

7 大府市こども未来応援金
 国の子育て応援交付金を活用して、大府市こども未来応援金を創設し、妊娠時と出産後の面接後に、妊婦に5万円、子の養育者にこども一人あたり10万円(令和5年4月1日までに出生したこどもは一人あたり5万円)の応援金を支給しました。

		R4年度	R5年度	R6年度
妊娠	申請数(件)	951	1,038	751
	支給数(人)	951	1,038	751
	支給金額(円)	47,550,000	51,900,000	37,550,000
出産	申請数(件)	572	807	754
	支給数(人)	579	819(213)※	763
	支給金額(円)	28,950,000	71,250,000	76,300,000
	支給金額合計(円)	76,500,000	123,150,000	113,850,000

※()はR4年度出生
 令和5年4月1日までに出生した児の母親には、別途こども一人あたり10万円の、大府市臨時特別出産祝金を支給しています。

実施内容

117	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	目の決算額	539,660,892	117
	事務事業名称	感染症予防事業					
	事業コスト(千円)	556,217	【うち人件費 16,363 うち減価償却費 1,278 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 感染症のり患を防止し、感染症の蔓延が予防されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	麻しん風しん（MR）第1期接種率		91.6	／	100	%	
	高齢者インフルエンザ接種率		58.3	／	70	%	
				／			
実施内容	1 予防接種法による定期の予防接種の実施（個別接種）						
	(1) 乳幼児 (単位:件)						
		R4年度	R5年度	R6年度			
	ロタ	1,887	1,726	1,672			
	ヒブ ※	3,223	3,053	927			
	小児用肺炎球菌	3,227	3,052	2,970			
	B型肝炎	2,463	2,265	2,191			
	4種混合 ※	3,209	3,301	999			
	5種混合 ※			2,027			
	不活化ポリオ	2	1	2			
	B C G	805	768	723			
	MR (1期、2期)	1,748	1,618	1,578			
	水痘	1,576	1,542	1,450			
	日本脳炎(1期)	3,213	2,493	2,428			
※令和6年度から5種混合が開始されました。ヒブと4種混合もしくは5種混合どちらかを接種します。							
(2) 児童生徒 (単位:件)							
	R4年度	R5年度	R6年度				
2種混合	765	804	839				
日本脳炎(2期)	1,294	1,044	942				
子宮頸がん	531	513	717				
キャッチアップ接種 ※	814	758	2,354				
※積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、キャッチアップ接種を実施しました。							
事業の評価	妥当性評価	予防接種法により、定期接種は市が実施するように定められており、市民の健康維持のために市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	未接種者に対して接種を勧奨し、接種率向上に努めたものの、接種率が低下している予防接種があるため、勧奨方法に工夫が必要です。					
	効率性評価	市内医師団と協力して事業を効率よく実施できました。					
事業費	左の財源内訳						
	538,125,056	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		94,604,750	0	48,797,900 (基金1,878,000)	394,722,406		

117	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	117
	事務事業名称	感染症予防事業			
	事業コスト(千円)				

(3) 高齢者 (単位:件)

	R4年度	R5年度	R6年度
インフルエンザ	※1 14,007	13,128	11,947
高齢者肺炎球菌	439	475	320
新型コロナ※2			5,653

※1 新型コロナウイルス感染症発生に伴い、インフルエンザ拡大防止のため、県の補助を受け、自己負担額を無料として実施しました。

※2 令和6年度から新型コロナワクチンの定期接種を開始しました。

(4) 風しんの追加的対策 (MR)

風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率の低い世代の男性に抗体検査、予防接種を実施しました。

(単位:件)

	R4年度	R5年度	R6年度
風しん抗体検査	459	386	335
風しん	2	0	1
麻しん風しん混合	103	84	61

2 任意の予防接種の助成

(1) 成人風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチン

生命に関わる感染症を予防するためのワクチン接種について、定期接種となっていない任意の予防接種及び風しん抗体検査について、接種及び検査費用を助成しました。

(単位:件)

	R4年度	R5年度	R6年度
風しん抗体検査	38	42	17
成人風しん	5	4	8
成人麻しん風しん混合	45	34	16

実施
内容

(2) 季節性インフルエンザ予防接種の助成

受験生の学習支援及び重症化予防として、中学3年生、高校3年生の年齢に達する方に対し、接種費用を助成しました。

R4年度 800件 R5年度 861件 R6年度 939件

(3) 医療行為により免疫を失った場合の定期予防接種再接種

小児がん等により免疫を抑制する治療を受けた児に対し定期接種の再接種費用を助成しました。

R4年度 2人 R5年度 3人 R6年度 0人

(4) おたふくかぜ予防接種の助成

1歳から2歳未満の方及び年長児を対象に接種費用を助成しました。

R4年度 1,409件 R5年度 1,409件 R6年度 1,458件

(5) 帯状疱疹予防接種の助成

50歳以上の方に対し、接種費用を助成しました。

R6年度から、ビケン4,000円、シングリックス10,000円×2回に助成額を増額しました。

R4年度 780件 R5年度 592件 R6年度 1,172件

117	款・項・目	4・1・4	目名称	予防費	117
	事務事業名称	感染症予防事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	<p>3 広域予防接種 愛知県内の大府市外の医療機関で定期の予防接種を実施しました。 R4年度 1,643件 (A類疾病 1,198件、B類疾病 445件) R5年度 1,339件 (A類疾病 914件、B類疾病 425件) R6年度 1,468件 (A類疾病 788件、B類疾病 680件) A類疾病：ロタ・ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎・4種混合・5種混合・不活化ポリオ・BCG・MR・水痘日本脳炎・2種混合・子宮頸がん B類疾病：高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌</p>				
	<p>4 予防接種費用の補助 愛知県外で予防接種を実施した場合の予防接種費用を助成しました。 R4年度 124件 (A類疾病 97件、B類疾病 27件) R5年度 127件 (A類疾病 112件、B類疾病 15件) R6年度 119件 (A類疾病 85件、B類疾病 34件)</p>				

118	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	111,746,839	118																													
	事務事業名称	地域環境美化推進事業																																		
	事業コスト(千円)	18,631	【うち人件費 9,764 うち減価償却費 265 】																																	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市内全域																																			
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 雑草が除去され、適正な管理の保たれている土地（あき地）が増加するとともに、ポイ捨て・不法投棄ごみのない、清潔で快適な環境が保たれています。																																			
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																														
	不法投棄対応件数		118	／	160	件																														
	不法投棄家電回収台数		11	／	19	台																														
実施内容	<p>1 「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例により地域環境美化を推進しました。</p> <p>(1) リーフレッツの配布などにより、条例の遵守及び禁止事項等の啓発を行いました。</p> <p>(2) JR大府、共和両駅前の路上禁煙地区で環境美化専門員が監視パトロールを実施しました。</p> <p>(3) 環境美化推進員及び環境美化指導員により地域の環境美化に係る啓発、指導等を行いました。</p> <p>(4) 地域の環境美化活動の推進に寄与した3名を表彰しました。</p> <p>(5) 土地（あき地）の雑草の除去指導等を実施しました。</p> <p>2 不法投棄対策</p> <p>(1) 不法投棄ごみの回収及び監視パトロールを実施し、不法投棄の防止及び環境美化を図りました。</p> <p>(2) 不法投棄禁止看板を55枚貸し出しました。不法投棄されたごみに警告シールを貼り付けました。</p> <p>(3) 市民との協働により、自治会、アダプトプログラム活動団体等とともに地域清掃を行いました。</p> <p>(4) 一般財団法人家電製品協会の補助制度を活用し、不法投棄された家電4品目、パソコン等の回収を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">定期収集による回収</th> <th>ごみゼロ運動</th> <th colspan="2">不法投棄家電等回収台数</th> </tr> <tr> <th>回収量(t)</th> <th>件数(件)</th> <th>回収量(t)</th> <th>家電4品目</th> <th>パソコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4.12</td> <td>155</td> <td>-</td> <td>25</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>4.57</td> <td>153</td> <td>2.3</td> <td>13</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3.50</td> <td>118</td> <td>2.6</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 動物死体処理 道路上等の動物の死体回収及び処理を行いました。 令和4年度 320件 令和5年度 339件 令和6年度 265件</p> <p>4 スズメバチ類駆除 スズメバチ類を駆除処理した土地の所有者等に補助金を交付しました。 補助件数：53件 補助金額：236,700円</p>								定期収集による回収		ごみゼロ運動	不法投棄家電等回収台数		回収量(t)	件数(件)	回収量(t)	家電4品目	パソコン	令和4年度	4.12	155	-	25	0	令和5年度	4.57	153	2.3	13	2	令和6年度	3.50	118	2.6	9	2
		定期収集による回収		ごみゼロ運動	不法投棄家電等回収台数																															
回収量(t)		件数(件)	回収量(t)	家電4品目	パソコン																															
令和4年度	4.12	155	-	25	0																															
令和5年度	4.57	153	2.3	13	2																															
令和6年度	3.50	118	2.6	9	2																															
事業の評価	妥当性評価	「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例において、市は地域の環境美化の推進に関する必要な施策を策定し、実施するものとしています。																																		
	有効性評価	市民や環境美化推進員との協働で、地域の美化活動や不法投棄の監視などを行うことにより、清潔で快適な環境を保つことができました。																																		
	効率性評価	不法投棄ごみ回収及び動物の死体処理を業務委託することで、速やかに対応することができました。																																		
事業費	左の財源内訳																																			
	8,503,706	国県支出金	地方債	その他	一般財源																															
		0	0	2,354,749	6,148,957																															

119	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	111,746,839	119
	事務事業名称	環境基本計画推進事業					
	事業コスト(千円)	18,015	【うち人件費 12,493 うち減価償却費 558 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民・事業者・行政 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民・事業者・行政が協働して、環境に配慮した取組が実施されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	環境基本計画基本方針指標目標達成率		30	／	58.3	%	
	クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動回数		15	／	8	回	
	環境パートナーシップ会議の活動回数		20	／	5	回	
実施内容	1 第3次大府市環境基本計画の見直し 「世界首長誓約／日本」の誓約事項である「エネルギーの地産地消の推進」「2030年の温室効果ガスの排出削減は国の削減目標以上を目指す」「気候変動の影響への適応」の内容に準じた見直しを行い、第3次大府市環境基本計画の見直し改定版を12月に策定しました。						
	2 令和32年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ実現を見据えた第3次環境基本計画の運用及び進捗管理 計画の実行・評価・改善の仕組みに従って適切な運用を図りました。						
	(1) 環境基本計画推進会議の開催：1回（6月12日） (2) 環境審議会の開催：3回（7月9日、12月16日、3月11日） (3) あいちゼロカーボン推進協議会への参加 人材育成ワーキンググループに所属し、産学官のネットワーク構築と情報収集に努めました。						
	3 クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動支援 鞍流瀬川・JR駅周辺を中心に地元の団体などが主導している環境保全活動を支援しました。小規模なエリアでの活動や少人数でも実施可能な開催方法を推進し、活動拠点の増加を図りました。 （活動拠点：令和4年度：6拠点、令和5年度：13拠点、令和6年度：15拠点）						
	4 環境パートナーシップの協働推進 市民・事業者・行政が協働して、地域課題解決に係る活動を推進しました。						
(1) 環境パートナーシップ会議の開催：2回（7月4日、11月15日） (2) 個別の環境活動（活動回数：20回）							
5 リサイクルガラス砂を活用した環境保全の推進 リサイクルガラス砂の特徴である防草効果を活かし、公共施設や公園等における環境保全活動を推進しました。また、環境講座等を通じて、ガラスリサイクルによる資源循環への意識啓発やSDGsへの貢献に関する情報発信にも努めました。 （活用施設：吉田公民館、横根公民館、追分町六丁目市管理地、市役所）							
事業の評価	妥当性評価	国の環境基本法に基づき策定した第3次大府市環境基本計画に定められた事業であるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市民・事業者・行政の協働による環境パートナーシップ会議の活動が活発になってきており、県が主催する「2025愛知環境賞」で優秀賞を受賞することができました。					
	効率性評価	各種会議の開催内容を検討し、オンライン会議の活用や会議資料の簡素化等で効率化やコスト削減を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	4,758,060	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	300,000	4,458,060		

120	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	111,746,839	120
	事務事業名称	地球温暖化対策推進事業					
	事業コスト(千円)	46,157	【うち人件費 11,932 うち減価償却費 731 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民、事業者、本庁舎及び庁外施設の職員並びに協力団体						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 市民及び事業者の地球温暖化防止に関する意識が高まるとともに、一人ひとりの温暖化防止に関する取組が推進されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	温室効果ガス排出量原単位の削減率		1.1	／	-1	%	
	エネルギーの使用に係る原単位の削減率		-9.4	／	-1	%	
実施内容	<p>1 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ実現に向けたアクションプランの策定 第3次大府市環境基本計画の見直し改定版に基づく具体的な事業計画であるアクションプランを策定しました。</p> <p>(2) 国の「デコ活(新しい国民運動)」推進と連携した地球温暖化対策の実施 脱炭素オープンセミナー参加企業：24社、グループワーク参加企業：3社 市民向け省エネ講座：16回実施</p> <p>(3) 大府市シビック・エコアクション8の推進 市民が取り組む環境配慮行動のきっかけを示した8つのエコアクションを、イベントや環境講座等でPRし、日常的に取り組むことができる環境配慮行動の普及促進を図りました。</p> <p>(4) 個人用次世代自動車購入費補助金制度の運用 環境性能に優れた次世代自動車の普及を通じて、家庭からの温室効果ガス排出量の抑制及び災害時の電力確保に努めました。 燃料電池自動車の補助件数：1件、電気自動車の補助件数：30件、 プラグインハイブリッド自動車の補助件数：33件</p> <p>(5) 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金制度の運用 創エネ・省エネ・蓄エネへの市民の取組を支援し、平常時の温室効果ガス削減と災害時のエネルギー確保に貢献することで、持続可能な脱炭素社会を推進しました。 蓄電池単体の補助件数：106件、充電システム単体の補助件数：3件</p> <p>2 エコライフ講座等の実施 緑のカーテンの育成方法と効果についての講座及び種を植えたポットの配布を実施しました。 あいち健康の森薬草園と連携した環境講座(参加者数：15人)</p>						
	事業の評価	妥当性評価	急激な温度上昇による地球温暖化は、市民生活に甚大な被害が及ぶ可能性が指摘されており、取組の推進及び意識啓発は市が実施すべき事業です。				
有効性評価		J-クレジット創出・活用プロジェクト等で民間事業者と連携することで、市民・事業者等の環境配慮行動及び行動変容の意識啓発を図ることができました。また、公共施設に緑のカーテンを設置することにより、利用者等に広く啓発することができました。					
効率性評価		各種市民向け補助制度、緑のカーテンの普及や省エネ講座に国・県の支援制度を活用することで、コストの削減に努めました。					
事業費	左の財源内訳						
	33,308,546	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		3,240,000	0	0	30,068,546		

120	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	120
	事務事業名称	地球温暖化対策推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	<p>3 公共施設における緑のカーテンの設置 緑のカーテンを公共施設に設置することで緑化を促進するとともに、室内温度の上昇を抑え、冷房にかかるエネルギー使用量の削減を図りました。(対象施設：41施設)</p>				
	<p>4 環境マネジメントシステムの運用及び進捗管理 自己宣言方式により環境マネジメントシステムを運用しました。</p> <p>(1) 環境保全推進会議の開催：1回（6月12日） (2) 環境基本計画推進会議の開催：1回（6月12日） (3) 環境審議会の開催：3回（7月9日、12月16日、3月11日）</p>				

121	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	111,746,839	121																												
	事務事業名称	ペット動物管理事業																																	
	事業コスト(千円)	11,745	【うち人件費 8,222 うち減価償却費 290 】																																
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 犬・猫等の飼養者																																		
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 飼養犬の登録を増やすとともに、狂犬病予防注射の接種率が向上し、ペットの飼い方のマナーが向上しています。																																		
評価指標	指標名		令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位																													
	狂犬病予防注射接種率		91.6	/	90	%																													
	犬、猫の死体処理数		81	/	150	件																													
実施内容	<p>1 犬登録システムで市内の犬の情報を適切に管理しました。</p> <p>2 狂犬病予防注射の案内通知を登録犬の飼い主に郵送するとともに、犬の登録や狂犬病予防注射の接種を広報紙や市公式ウェブサイト等により啓発しました。</p> <p>3 狂犬病予防注射の未実施犬の飼い主に、はがきや電話により督促を実施しました。</p> <p>4 愛知県獣医師会と委託契約を結び、動物病院で狂犬病予防注射と同時に登録鑑札と注射済票を交付しました。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録数(頭)</th> <th>新規登録数(頭)</th> <th>狂犬病予防注射 接種数(頭)</th> <th>接種率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4,865</td> <td>385</td> <td>4,352</td> <td>89.5</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>4,783</td> <td>373</td> <td>4,220</td> <td>88.2</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>4,517</td> <td>411</td> <td>4,136</td> <td>91.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 大府市人と犬及び猫との共生に関する条例に基づき、犬や猫との共生を推進しました。</p> <p>(1) 市公式ウェブサイト等で犬や猫の飼い方マナーや災害時の備えについて周知しました。</p> <p>(2) 犬のふんの放置を警告するため、市民に啓発看板を貸し出しました。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸出数(枚)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 犬及び猫に対するマイクロチップ装着費の補助制度(1頭当たり1,500円)を実施しました。 令和6年度 22件 (犬 22件 猫 0件)</p> <p>(4) 飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施する地域猫活動を自治区回覧版や看板設置により周知しました。</p> <p>(5) 災害時に被災した犬及び猫用のペットフードを購入し、防災倉庫に備蓄しました。</p> <p>(6) 猫によるふん尿などの被害を軽減するため、猫よけ器の貸出を実施しました。 令和6年度 56件</p> <p>(7) 地域猫活動団体に不妊及び去勢手術費を補助しました。 不妊 67件 去勢 60件</p>								登録数(頭)	新規登録数(頭)	狂犬病予防注射 接種数(頭)	接種率 (%)	令和4年度	4,865	385	4,352	89.5	令和5年度	4,783	373	4,220	88.2	令和6年度	4,517	411	4,136	91.6		貸出数(枚)	令和4年度	68	令和5年度	47	令和6年度	38
		登録数(頭)	新規登録数(頭)	狂犬病予防注射 接種数(頭)	接種率 (%)																														
	令和4年度	4,865	385	4,352	89.5																														
	令和5年度	4,783	373	4,220	88.2																														
	令和6年度	4,517	411	4,136	91.6																														
		貸出数(枚)																																	
	令和4年度	68																																	
	令和5年度	47																																	
	令和6年度	38																																	
	事業の評価	妥当性評価	飼い犬の登録及び狂犬病予防接種は、狂犬病予防法により義務付けられているため、市が実施すべき事業です。																																
有効性評価		狂犬病の発生を防ぐためには、狂犬病予防注射が最も有効な手段です。																																	
効率性評価		動物病院でも登録鑑札及び注射済票の交付が受けられるようにすることにより、市民の利便性の向上と事務の効率化を図っています。																																	
事業費	左の財源内訳																																		
	3,126,288	国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
		0	0	2,096,000	1,030,288																														

122	款・項・目	4・1・5	目名称	環境衛生費	目の決算額	111,746,839	122
	事務事業名称	知北平和公園組合事業					
	事業コスト(千円)	54,503	【うち人件費 1,405 うち減価償却費 63 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 知北平和公園の斎場と霊園						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 滞りない火葬の実施とともに、需要に対応した墓地の提供が行われています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	負担金額		53,012	／	59,381	千円	
				／			
				／			
実施内容	1 火葬件数						
		人体（人）		動物（匹）			
		総数	大府市	総数	大府市		
	令和4年度	2,542	828	2,633	854		
	令和5年度	2,376	760	2,480	820		
	令和6年度	2,577	820	2,277	746		
	2 墓地募集 ※（令和6年度）から通年募集						
		1次募集		2次募集			
		募集区画数	応募者数	募集区画数	応募者数		
	令和4年度	30	17	43	16		
令和5年度	30	15	44	21			
令和6年度	661	28	—	—			
3 負担金額（千円）							
	組合全体			大府市			
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
斎場事業	189,243	79,194	75,504	68,203	28,605	27,355	
事務費	35,368	31,148	30,635	12,555	11,077	10,922	
霊園事業	53,013	39,529	40,670	19,106	14,278	14,735	
計	277,624	149,871	146,809	99,864	53,960	53,012	
4 施設整備							
(1) 斎場工事（斎場整備事業（建替工事）、空気調和設備改修工事）							
(2) 霊園工事（霊園園路舗装更新工事（C区画その3）、空気調和設備改修工事）							
(3) 公園工事（トイレ洋式化工事）							
事業の評価	妥当性評価	墓地及び火葬場の運営は、公衆衛生や公共の福祉の見地から公益性及び持続性が確保される必要があるため、市（一部事務組合）で実施すべき事業です。					
	有効性評価	施設の維持補修及び墓地の整備を計画的に実施し、斎場・霊園事業を円滑に運営しました。					
	効率性評価	一部事務組合で斎場・霊園事業の運営を行うことにより、運営経費を2市1町で分割して負担しています。					
事業費	左の財源内訳						
	53,012,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	53,012,000		

124	款・項・目	4・1・6	目名称	公害対策費	目の決算額	5,216,798	124
	事務事業名称	公害防止協定推進事業					
	事業コスト(千円)	2,169	【うち人件費 1,795 うち減価償却費 81 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	事業所 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公害防止協定の締結により自主的な環境対策の取組を促進し、公害の発生が防止されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	公害防止協定締結事業所等調査の適合率		85.7	／	100	%	
	公害防止協定締結事業所から発生する公害苦情		7	／	0	件	
				／			
実施内容	1 公害防止協定締結事業所への調査						
	(1) 公害防止協定締結事業所に対し、定期調査を実施しました。 調査内容 ア 工場排水水質調査（12社）年1回（7月） イ 騒音調査（9社）年1回（7月） 協定値適合率 [R4年度93.4% R5年度83.3% R6年度85.7%] 内訳 ア 工場排水水質調査 [R4年度96.4% R5年度91.6% R6年度91.6%] イ 騒音調査 [R4年度90.9% R5年度66.6% R6年度77.7%]						
事業の評価	妥当性評価	公害防止協定の締結により、事業所による自主的な環境対策を促進し、公害の発生や苦情を未然に防ぐことができるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	公害防止協定締結事業所に対して各種調査を実施し、協定値を超過している事業所を指導することで、公害の発生を低減することに努めました。					
	効率性評価	工場排水及び騒音の定期調査において、現状に即した調査となるよう、調査方法や測定地点等の見直しを実施し、業務効果を維持しながら効率的な事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	264,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	264,000		

125	款・項・目	4・1・6	目名称	公害対策費	目の決算額	5,216,798	125
	事務事業名称	水質環境保全事業					
	事業コスト(千円)	2,636	【うち人件費 1,154 うち減価償却費 42 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 下水道等未整備区域を中心とした市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 河川等の汚濁状況の認識を深め、家庭でできる生活排水対策を実施することにより、家庭からの生活排水の汚濁が防止されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	合併処理浄化槽設置費用補助基数		3	／	10	基	
	合併処理浄化槽法定検査結果に基づく勧告件数		165	／	126	件	
実施内容	1 公民館まつり等のイベントにおいて、啓発グッズの配布やパネルの展示による生活排水対策を啓発しました。						
	2 単独処理浄化槽又はくみ取り便槽を廃止して合併処理浄化槽を設置する市民に対し補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図るとともに、生活環境の保全及び環境衛生の向上を図りました。 (1) 補助金交付実績 補助基数 R4年度：2基、R5年度：2基、R6年度：3基 補助金交付 R4年度：1,008,000円、R5年度：1,008,000円、R6年度：1,348,000円 (2) 補助金単価 5人槽：332,000円、6～7人槽：414,000円、撤去費：90,000円						
	3 市公式ウェブサイトによる啓発を実施し、くみ取り便槽の使用者に合併処理浄化槽設置事業費補助金の案内を送付しました。						
	4 合併処理浄化槽法定検査結果に基づく勧告 一般社団法人愛知県薬剤師会から浄化槽管理者へ適正管理を勧告しました。 勧告件数 7条検査：22件、11条検査：143件						
事業の評価	妥当性評価	合併処理浄化槽の設置を促進することで、水路や河川などの公共水域の水質を維持できるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進することで、生活環境の保全及び環境衛生の向上に寄与できます。					
	効率性評価	下水道が未普及の地域では、合併処理浄化槽を設置することで、生活排水を効率的に浄化できます。					
事業費	左の財源内訳						
	1,425,380	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		604,000	0	0	821,380		

126	款・項・目	4・1・7	目名称	健康都市推進費	目の決算額	10,032,413	126
	事務事業名称	健康都市推進事業					
	事業コスト(千円)	23,361	【うち人件費 12,163 うち減価償却費 1,148 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民及び市域 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 健康づくりに取り組む市民、企業、地域が増え、「健康都市おおぶ」としてまちが活性化しています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	「健康都市おおぶ」推進会議回数		3	／	2	回	
	企業チャレンジ登録事業所数		125	／	120	事業所	
実施内容	1 「健康都市おおぶ」推進会議の開催						
	(1) 内容 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プランの中間評価及び改訂作業にあたり、委員の意見を聴取し、プランに反映させました。						
	(2) 開催回数 R4年度：2回、R5年度：2回、R6年度：3回(計画改訂に伴い開催回数増)						
	2 WHO健康都市推進会議の開催						
	(1) 内容 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プランの中間評価及び改訂作業にあたり、より効果的な情報収集と意見聴取を図るため、関係課に個別ヒアリングを実施しました。						
(2) 開催回数 R4年度：2回、R5年度：2回、R6年度：0回(計画改訂に伴う各課ヒアリングで代替)							
3 健康都市連合加盟団体等との交流・情報交換							
(1) 第10回健康都市連合国際大会(9/25～27に大韓民国・ソウル特別市にて開催) 本市の健康都市への取組が評価され、「グッド・ダイナミック賞」を受賞しました。							
(2) 健康都市連合日本支部総会・大会及び健康寿命延伸都市協議会 7/11、12に大阪府吹田市で開催された第20回健康都市連合日本支部総会・大会及び7/31にオンラインで開催された第10回健康寿命延伸都市協議会に出席し、加盟都市間で情報交換を行いました。							
4 健康都市や地域包括ケアシステム等に関する総合的な企画及び調整の実施							
(1) 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プランの改訂 「健康都市おおぶ」推進会議や各課へのヒアリング等を経て、計画の改訂を行いました。							
(2) 健康経営の推進 大府商工会議所や協会けんぽ愛知支部等と連携し、市内事業所の健康経営をサポートしました。							
(3) 大府市健康プログラムの実施 ㈱タニタヘルスリンクや㈱スギ薬局と連携し、プログラムを通して健康経営を推進しました。 プログラム参加者数 R4年度：592人、R5年度：708人、R6年度：812人							
(4) こどもの近視予防プロジェクト(アイケア啓発プロジェクト)の展開 産学官連携により、あらゆる世代の目の健康を守るための啓発や取組支援を行いました。							
(5) 認知症に関する普及啓発 9月の認知症月間のライトアップと「認知症の日(9/21)」に合わせたイベントを実施しました。							
事業の評価	妥当性評価	市民の健康増進・食育推進・自死対策などは、市民の主体的な取組を推進しながら、多様な主体と連携し、市が推進すべき事業です。					
	有効性評価	健康診断など健康づくりの支援の満足度が高いこと(全52項目のうち2位)、大府市は「健康都市」だと思える市民が7割を超えていることなど、市民から一定の評価を得ています。					
	効率性評価	ロート製薬㈱・㈱スギ薬局・名古屋大学との「アイケア啓発プロジェクト」を始め、事業所等と連携した様々な取組を行い、効果的な事業展開を行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	10,030,875	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		23,000	0	293,709	9,714,166		

127	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	1,171,032,676	127
	事務事業名称	ごみ減量化推進事業					
	事業コスト(千円)	8,945	【うち人件費 5,543 うち減価償却費 248 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民から排出されるごみ 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 4Rの推進により、ごみの減量が図られています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位	
	家庭系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量		451	/	495	g/人・日	
	事業系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量		112	/	125	g/人・日	
実施内容	1 ごみの減量と資源の分別について、小学4年生を対象にした環境学習出前講座のほか、地域住民や団体を対象にした出前講座を開催しました。						
		環境学習出前講座受講者数(人)	地域等の出前講座受講者数(人)	合計(人)			
	令和4年度	981	223	1,204			
	令和5年度	958	381	1,339			
	令和6年度	958	116	1,074			
2 生ごみの減量化施策として、生ごみたい肥化容器の購入補助を行うとともに、アスパ（EMボカシ）を毎月15日から月末まで各公民館、石ヶ瀬会館、市役所で市民に無料で配布しました。							
		生ごみたい肥化容器補助		アスパ配布数			
		基数(基)	補助額(円)	(袋)			
令和4年度	25	43,700	20,550				
令和5年度	14	28,900	18,900				
令和6年度	16	36,300	17,800				
市地域婦人団体の段ボールコンポスト普及活動を支援し、ごみ減量の促進を図りました。							
3 ごみの分別の徹底や減量化に役立てるため、家庭から出されるごみの組成調査を2回実施しました。							
燃やせるごみに含まれる資源の割合				23.2%			
燃やせないごみに含まれる資源の割合				7.8%			
燃やせるごみに含まれる未開封食品等の割合				5.2%			
4 一人1日当たりのごみ（資源除く）の排出量（g/人・日）							
	家庭系	事業系	合計				
令和4年度	497	112	609				
令和5年度	460	109	569				
令和6年度	451	112	563				
事業の評価	妥当性評価	ごみ処理施設の処理能力や最終処分場の埋立容量には限度があるため、ごみの減量化を推進することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	循環型社会を構築するためには、4R（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ）の推進によりごみの減量を進めることが重要です。					
	効率性評価	小学校や地域等において、出前講座を行うことにより、多くの市民にごみ減量に関する正しい知識を広めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	3,063,278	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	3,063,278		

127	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	127
	事務事業名称	ごみ減量化推進事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	<p>5 公民館の料理講座講師の協力により、食材を無駄にしないエコクッキングレシピを開発し、市公式ウェブサイトに掲載しました。</p> <p>また、フードドライブ活動を行っている団体や自治区と連携し食品ロスの削減につなげました。</p> <p>6 石ヶ瀬川にごみ回収用ネットを試験的に設置し、その調査結果を環境出前講座で紹介するとともに、市公式ウェブサイトに掲載して啓発しました。</p>				

128	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	1,171,032,676	128	
	事務事業名称	資源回収事業						
	事業コスト(千円)	211,879	【うち人件費 6,699 うち減価償却費 290 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民・事業者から排出される資源							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 市民の協力を得て分別回収を推進し、資源回収量が増加しています。							
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位		
	出前講座（環境学習）受講者数		1,074	／	997	人		
	家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合		23.2	／	18	%		
実施内容	1 資源回収							
	(1) 地域の資源回収ステーションと公共資源ステーションで資源回収を実施しました。プラスチック製容器包装とプラスチック製品の一部をごみステーションで回収しました。							
	(2) 公民館、児童老人福祉センター等で使用済乾電池を回収し資源化しました。							
	(3) 資源回収業者、自治区、警察等と情報を共有し、資源の持ち去り監視強化を啓発しました。							
	(4) 各公民館、石ヶ瀬会館及び市役所で使用済小型電子機器等を回収しました。また、アフターメダルプロジェクトとして携帯電話やスマートフォンを回収しました。							
	(5) 市役所及び公共資源ステーションでペットボトルキャップの回収を実施しました。							
	(6) 大府公民館で羽毛ふとんをイベント回収しました。							
	(7) 横根地区全域及び北崎地区の一部（北尾地区）で家庭系生ごみ分別収集事業を実施しました。							
	(8) 電気・電池で動くおもちゃの回収を実施しました。							
	(9) 分別方法や収集日が分かる、多言語対応のごみ分別アプリの活用を推進しました。							
	家庭系資源回収量等実績							
			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	総回収量		t	3,777	3,644	4,197		
	紙類		t	1,908	1,683	1,528		
	鉄類		t	174	167	158		
ペットボトル		t	183	177	173			
プラスチック製容器包装		t	364	433	463			
プラスチック製品		t	-	73	63			
びん類		t	504	506	492			
乾電池		t	18	18	18			
新聞販売店自主回収		t	612	573	533			
小型電子機器等		t	14	14	15			
スーパー等店頭回収		t	-	-	754			
電気・電池おもちゃ		kg	-	60	192			
資源再利用推進報償金		円	11,880,718	10,159,190	8,816,646			
事業の評価	妥当性評価	循環型社会形成推進基本法により、地方公共団体は循環資源について適正に循環的な利用及び処分が行われることを確保するために、必要な措置を実施することとされていることから、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	適正な資源循環を促進することにより、天然資源の消費が抑制され、環境に与える負荷が低減できます。						
	効率性評価	自治区や班、組等の協力により、地域の資源回収を効率的に実施することができました。						
事業費	左の財源内訳							
	204,782,398	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	18,370,592	186,411,806			

128	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	128
	事務事業名称	資源回収事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	<p>2 4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の啓発</p> <p>(1) 自治区単位でリサイクル関連施設の視察会を実施しました。</p> <p>(2) ごみの減量と資源の分別について、小学4年生を対象にした環境学習出前講座のほか、地域住民や団体を対象にした出前講座を開催しました。</p> <p>(3) ちらし、広報紙、市公式ウェブサイトなどで資源の正しい分別方法を啓発しました。</p> <p>(4) 自治会加入世帯には地域の資源回収ステーションを、アパートなどの単身世帯や自治会未加入者には公共資源ステーションを利用するよう啓発し、資源回収量の増加及び家庭系可燃ごみにおける資源の混入割合の減少を図りました。</p> <p>3 アフターメダルプロジェクトの推進</p> <p>(1) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」のレガシーを引き継ぎ、アフターメダルプロジェクトとして、社会福祉法人や企業と連携し、携帯電話回収を推進しました。</p> <p>(2) 第20回アジア競技大会でのリサイクルメダル採用について、県や関係企業等と情報交換を行いました。</p>				

129	款・項・目	4・2・1	目名称	清掃総務費	目の決算額	1,171,032,676		129	
	事務事業名称	東部知多衛生組合事業							
	事業コスト(千円)	964,678 【うち人件費 1,405 うち減価償却費 63】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） ごみ、し尿・浄化槽汚泥の処理施設と余熱利用としてのプール								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 施設の適正運用を図るとともに、新施設への更新が進んでいます。最終処分場が供用開始されています。								
評価指標	指標名			令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位		
	負担金額			963,187	／	1,027,620	千円		
実施内容	1 議会の開催 定例会 2回								
	2 修繕工事 クリーンセンター 5件、浄化センター 7件、温水プール 1件、洲崎処分場 1件								
	3 クリーンセンター、浄化センター、温水プールの運営状況								
			組合全体			大府市			
			R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	クリーンセンター	焼却処理量	51,932	49,593	48,698	20,445	19,236	19,007	
	実績（t）	破碎処理量	1,686	1,464	1,384	765	604	594	
		浄化センター	し尿処理量	2,988	2,822	2,792	969	897	863
	実績（t）	浄化槽汚泥処理量	36,848	36,894	37,979	14,116	14,201	15,155	
		温水プール利用者数（人）	37,246	48,441	58,153				
4 負担金額（千円）									
		組合全体			大府市				
		R4	R5	R6	R4	R5	R6		
し尿関係		226,377	217,824	240,547	85,401	82,737	92,018		
ごみ関係		1,855,705	2,000,171	2,258,403	723,088	778,642	825,199		
温水プール関係		63,605	85,689	101,383	32,888	44,341	45,970		
計		2,145,687	2,303,684	2,600,333	841,377	905,720	963,187		
事業の評価	妥当性評価	一般廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務と規定されているため、市（一部事務組合）で実施すべき事業です。							
	有効性評価	収集したごみ、し尿及び浄化槽汚泥を適正かつ安定的に処理することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができました。							
	効率性評価	一部事務組合でごみ処理施設等を運営することにより、運営経費を2市2町で分割して負担しています。							
事業費	左の財源内訳								
	963,187,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
		0	0	0	963,187,000				

130	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	目の決算額	277,156,356	130
	事務事業名称	廃棄物収集処理事業					
	事業コスト(千円)	254,297	【うち人件費 5,440 うち減価償却費 237 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民から排出されるごみ 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 迅速かつ適正に収集されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	午前中回収の未完了件数（平常時）		2	／	0	回	
	違反ごみへの警告シール貼付数		6,866	／	4,250	枚	
実施内容	1 ごみ収集						
	(1) 継続的かつ安定的なごみ収集を実施しました。						
	家庭系収集ごみの量（直接搬入ごみを除く）						
		燃やせるごみ (t)	燃やせないごみ (t)	合計 (t)	前年度比 (%)	一人1日当たり (g/人・日)	
	令和4年度	15,231	611	15,842	△6.44	467	
	令和5年度	14,188	429	14,617	△7.73	430	
	令和6年度	13,845	421	14,266	△2.40	420	
	(2) ごみの排出ルール及び分別方法を、ごみ資源案内の冊子、市公式ウェブサイト、広報紙及びごみ分別アプリにより啓発しました。						
	(3) 違反ごみに警告シールを貼り付けし、違反者へのごみ出しルールの周知を図りました。 令和4年度 5,095枚 令和5年度 5,122枚 令和6年度 6,866枚						
	(4) ごみ収集場所の新設、移設及び分散化について、市民や開発業者と協議を行い対応しました。						
(5) ごみ収集に関する苦情に対し、委託業者と連携して、迅速な対応を図りました。							
(6) ごみの量が多くなる長期連休の前後を除き、概ね午前中にごみ収集を完了しました。							
(7) 粗大ごみの戸別収集を実施しました。 令和4年度 716個 令和5年度 867個 令和6年度 999個							
2 指定ごみ袋の供給							
指定ごみ袋を取扱店を通じて販売し、市民に安定的に供給しました。							
指定ごみ製造原価（単位：円/10枚・税抜き）							
	大(45ℓ)	中(30ℓ)	小(20ℓ)				
令和4年度	176	140	118				
令和5年度	176	140	118				
令和6年度	177	142	120				
事業の評価	妥当性評価	一般廃棄物の収集及び処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務と規定されているため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	ゴールデンウィークや年末年始を除き、ごみ収集を午前中に回収することができました。ごみの散乱や不法投棄などを抑制し、生活環境を良好に保つことができました。					
	効率性評価	人口の増加や宅地開発によりごみ収集場所が増加していますが、民間のノウハウを活用することにより効率的な収集を行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	248,531,753	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	248,531,753		

130	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	130
	事務事業名称	廃棄物収集処理事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	<p>3 バイオマス産業都市構想の推進</p> <p>(1) これまでの実績や社会情勢などを反映させた第2期大府市バイオマス産業都市構想を策定し、国から承諾を受けました。</p> <p>(2) 横根地区全域及び北崎地区の一部の家庭系生ごみを分別収集して、バイオガス発電施設に搬入しました。</p> <p>(3) 市内の保育園、小中学校からの給食残渣や市外の民間事業者からの食品廃棄物の搬入を促進しました。</p> <p>(4) バイオガス発電施設からのメタン発酵肥料について、市民、業者への啓発や見本の配布を行いました。</p>				

131	款・項・目	4・2・2	目名称	清掃処理費	目の決算額	277,156,356	131
	事務事業名称	し尿収集処理事業					
	事業コスト(千円)	31,907	【うち人件費 3,107 うち減価償却費 129 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市内のくみ取り世帯等で発生するし尿						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 適正に収集し、処理されています。						
評価指標	指標名		令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	現年度分の収納率		99.6	／	99	%	
	滞納繰越分の収納率		100	／	90	%	
				／			
実施内容	1 し尿収集運搬 下水道・浄化槽に未接続の家庭や事業所のし尿を収集し、浄化センターへ運搬しました。						
		定額制平均世帯数 (世帯)	従量制月平均本数 (本：1本は36ℓ)				
	令和4年度	213	1,694				
	令和5年度	196	1,679				
	令和6年度	188	1,593				
	2 し尿清掃手数料の徴収 滞納者に対して督促状を6回、催告書を4回送付するとともに、電話督促や訪問徴収を行いました。						
	(1) 現年度分						
		調定額(円)	収入額(円)	不能欠損額 (円)	収納率(%)	口座振替 実施件数 (件)	
	令和4年度	8,300,767	8,272,119	0	99.7	1,805	
	令和5年度	7,820,128	7,820,128	0	100	1,726	
令和6年度	7,763,207	7,729,701	3,454	99.6	1,652		
(2) 滞納繰越分							
	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	収納率(%)		
令和4年度	28,796	28,796	0	0	100		
令和5年度	28,648	28,648	0	0	100		
令和6年度	0	0	0	0	100		
3 し尿収集車の脱臭管理を適切に行い、し尿の収集時に発生する悪臭を抑えることができました。							
事業の評価	妥当性評価	し尿の収集及び処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村の事務とされているため、市が処理すべき事業です。					
	有効性評価	し尿を適正に収集し、処理することは、衛生的な生活環境を保全するために有効です。					
	効率性評価	民間事業者に収集運搬を委託することにより、効率的に事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	28,624,603	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	7,729,701	20,894,902		

132	款・項・目	4・3・2	目名称	上水道給水事業費	目の決算額	63,480,826	132
	事務事業名称	水道事業補助事業					
	事業コスト(千円)	63,818	【うち人件費 322 うち減価償却費 14 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	水道事業 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 健全な状態を維持します。						
評価指標	指標名			令和6年度実績値	/	令和6年度計画値	単位
	補助金額			63,481	/	70,000	千円
					/		
					/		
実施内容	物価高騰対策として、市民や企業の経済的な負担を軽減するために実施した水道料金の基本料金の半額免除に要した費用として、水道事業会計に補助金を交付しました。						
	1 免除の対象 市内で水道を利用している世帯及び事業者（国及び地方公共団体が所有する施設に係るものを除く）						
	2 免除の期間 令和6年3月検針分から令和6年6月検針分まで（4か月分）（R5年度から繰越し）						
	3 半額免除した件数 (1) 3・4月検針分：34,676件 (2) 5・6月検針分：34,818件						
	4 補助対象経費及び補助額 (1) 半額免除した基本料金 62,328,954円 (2) 事務に要した経費 1,151,872円						
事業の評価	妥当性評価	企業会計である水道事業の健全な経営状態を維持するため、物価高騰対策として実施する水道料金の免除に必要な財源を確保することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	水道料金の基本料金を半額免除することにより、市民や企業の経済的な負担を軽減することができました。また、事業内容を市内外に継続的にPRすることにより、本市のシティプロモーションにも繋がりました。					
	効率性評価	料金システムを改修し、効率的に事業を実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	63,480,826	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	63,480,826	0		